

沼津・三島の女性5人 「ミセスミシン」結成

あなたの街の「ご当地こいのぼり」を作ります。沼津市や三島市に住む40～60代の女性5人が今年、オリジナルこいのぼりの製作を請け負うチーム「ミセスミシン」を結成した。最近では街のPRのため、コイに限らないオリジナルこいのぼりを掲げる地域や企業も多い。女性たちは得意の裁縫技術を生かし、製作に取り組む。

(熊崎未奈)

メンバーを集めたのは、沼津市の販促企画会社オフィスグルーの窪野岳社長(46)。5年前から、沼津特産の干物の「ひものぼり」や深海魚の「シーラカンスのぼり」など一風変わったこいのぼりを製作し、市内で開催される「沼津こいのぼりフェスティバル」で掲げてきた。縫製は、高校の同級生の赤池由貴恵さん(47)に依頼し、赤池さんが1人で担ってきた。

今年は、同社の取り組みを知った和歌山県有田市役所から、特産品のタチウオのこいのぼりを作ってほしいと依頼が舞い込んだ。注文内容は、長さ6疋、幅1疋の特大サイズを20匹。とても赤池さん1人では作り切れず、知り合いの女性に声を掛けた。赤池さんがリーダーとなり、3月中旬に作業が始まった。

も長年、趣味でミシンは使い慣れている。趣味が同じ女性同士、すぐに意気投合。タチウオのぼりの布は水をはじくつるつるした加工で、背びれなどの縫い合わせに苦労したが、1週間ほどで20匹を完成させた。

メンバーの近藤静恵さん(42)は「ミシンをやっている人が周りにいなかったけど、ここだと話が盛り上がる。一気に何疋も縫えるのが楽しい」と笑顔。「次は幅の広いヒラメも作ってみたい」と意欲的だ。

タチウオのほかに、沼津市が舞台のアニメ「ラブライブ!サンシャイン!!」のキャラクターをあしらったこいのぼりを製作し、市内で掲揚中だ。窪野社長はミセスミシンについて、「縫製技術を持っている女性の活躍の場になれば」と話す。こいのぼりに限らず、大型の縫製の受注や、新たな仲間の募集も考えている。料金などは応相談。問い合わせは、オフィスグルー＝電055(943)5290＝へ。



①タチウオのぼりを作るミセスミシンのメンバー ②ミシンを前に作業をするメンバー ③いずれも沼津市大諏訪で

ご当地こいのぼり作ります

40～60代

光る縫製技術